

第10 様式

様式1

避難・地震防災応急対策の実施状況報告

速報用

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

緊急応急対策等	実施状況等 (該当する番号に○をつけること)
①東海地震予知情報の伝達	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
②地域住民の避難状況	1 必要なし 2 必要あり(ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
③消防・浸水対策活動	1 必要なし 2 必要あり(ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
④応急の救護を要すると認められる者の救護、保護	1 必要なし 2 必要あり(ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑤施設・設備の整備及び点検	1 必要なし 2 必要あり(ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑥犯罪の防止、交通の規制、その他社会秩序の維持	1 必要なし 2 必要あり(ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑦食糧、生活必需品、医薬品等の確保	1 必要なし 2 必要あり(ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑧緊急輸送の確保	1 必要なし 2 必要あり(ア 完了 イ 実施中 ウ 未実施)
⑨災害対策本部の設置	1 設置 2 準備中 3 未設置
⑩対策要員の確保	1 完了 2 半数以上 3 半数未満
備考	

様式2

避難・地震防災応急対策の実施状況報告

送信者		受信者		送受信時間
機関名	氏名	機関名	氏名	
				月 日 時 分
				月 日 時 分

避難 の 経 過	①	危険事態、異常事態の発生状況		
		措置事項		
避難 状 況	②	避難場所名	避難人数・ 要救護人数	救護、保護に必要な措置等
地 震 防 災 応 急 対 策	③	東海地震予知情幸良の伝達、避難勧告・指示		
	④	消防、水防その他応急措置		
	⑤	応急救護を要すると認められる者の救護、保護		
	⑥	施設・設備の整備及び点検		
	⑦	犯罪の予防、交通の規制、その他社会秩序の維持		
	⑧	緊急輸送の確保		
	⑨	食料・医薬品等の確保、清掃・防疫の体制整備		
	⑩	その他災害の発生防止・軽減を図るための措置		
			備 考	

事故発生状況報告書

課長 殿

年 月 日 時 分現在

報告機関名			作成者職・氏名 (連絡先)		(- -)				
教科書名	発行者の略	記号番号	学年別冊数						
									計
合 計			()	()	()	()	()	()	()

(注) 合計欄の () 内は、実人数を記入すること。

避難所ペット登録台帳

とうろくだいちょう

避難所名

番号	ペットの なまえ	どうぶつ 動物の しゅるい 種類	ひんしゅ 品種	せいべつ 性別	とくちょう 特徴 けいろ たいかく (毛色・体格、 まいごふだ うむ 迷子札の有無 など)	いぬ 犬のみ記入		かぬし 飼い主の れんらくさき 連絡先	受付担当の 記入欄		
						し 市の とうろく 登録	きょうけんびょう 狂犬病 よぼうせつしゅ 予防接種		組名	入 所日	退 所日
記入例	グレイ	犬	ミニチュ アシュナ ウザー	オス	灰色、中型、 迷子札あり	とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 愛知 太郎 電話 (000)0000 -0000		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/
						とうろくずみ 登録済 . していない	ちゅうしゃずみ 注射済 . していない	氏名 電話		/	/

自衛隊災害派遣要請依頼書

文書番号
年 月 日

災害派遣要請者

殿

日進市長

自衛隊災害派遣要請依頼書

災害を防除するため、下記のとおり、自衛隊の災害派遣要請を依頼します。

記

1 災害の情况及び派遣要請を依頼する事由

災害の状況（特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。）

派遣を要請する事由

2 派遣を希望する期間

3 派遣を希望する区域及び活動内容

(1) 区域

(2) 活動内容（遭難者の捜索援助、道路警戒、水防、輸送、防疫等）

4 その他参考となるべき事項

その他の細部については、
において調整する。

2項に関しては、具体的に表現することが不可能な場合には、「救援活動終了するまでの間」等の定性的な表現

様式6

航空機隊支援出動要請書

名古屋市消防長 様

市町村及び消防本部（局）名
代表者（職・氏名）

発 信 者	所属（課） 職・氏名 Tel
要 請 日 時	年 月 日（ ） 時 分
災 害 種 別	救助 救急 火災 その他（ ）
要 請 活 動 内 容	救助 救急 消火 その他（ ）
発 生 場 所 目 標	場所（住所、緯度・経度） 目標
発 生 日 時	年 月 日（ ） 時 分頃
災 害 概 要	
気 象（災害現場）	天候 風向 風速 m/s 気温 °C 視程 km 警報等（警報又は注意報）
出動先若しくは活動 拠 点 離 着 陸 場	離着陸場名（離着陸場以外は施設名等） 場所（住所、緯度・経度）
傷 病 者 等 搬 送 先 離 着 陸 場	離着陸場名（離着陸場以外は施設名等） 場所（住所、緯度・経度）
傷 病 者 等	氏名 生年月日 年 月 日生 歳 住所 傷病名 傷病程度 (確定した後、記載すること)
現 地 搭 乗 者	機関名 職・氏名
現 場 指 揮 本 部	指揮者氏名 無線識別（主運用波3、統制波1・2・3）コール
ドクターヘリへの 運航要請	有 無
その他特記事項	

人的被害・住家被害

(第 報)

報告の期限	日時分現在	受信時刻	時	分	
発信機関		受信機関			
発信者名		受信者名			
内 容					
発 生	日 時	日 時 分			
	場 所				
	原 因				
人 的 被 害 の 状 況	被 害 程 度	1. 死亡 2. 行方不明 3. 重傷 4. 軽傷			
	氏 名 等	(氏名) (生年月日) (性別)			
	住 所				
	収 容 先				
	その他参考事項 (応急処置、情報源、確認・未確認の別、世帯主及び続柄等)				
住 家 被 害 の 状 況	全 壊	半 壊	一 部 破 損	床 上 浸 水	床 下 浸 水
	棟	棟	棟	棟	棟
	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯
	人	人	人	人	人
	応急対策の状況				

年 月 日

被害状況調査用紙（り災者台帳）

住 所
氏 名 (地域名)

1 世帯の状況 (構成人員 名)

世帯員氏名	続柄	生年月日	年齢	性別	職業 (学年)	死亡、行方不明 負傷の別	課税状況

2 自家、借家の別 (自家、借家、間借)

3 被害の状況

上記のとおり調査しました。

年 月 日

調査員氏名

印

罹 災 証 明 書

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏 名	続 柄	年 齢
罹 災 原 因	年 月 日 の による		
被災住家※ の 所 在 地	日進市		
住 家 ※ の 被 害 の 程 度	<input type="checkbox"/> 全 壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半 壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない（一部損壊）		
浸 水 区 分	<input type="checkbox"/> 床上浸水 <input type="checkbox"/> 床下浸水		

※住家とは、現実に居住（世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家）

備 考	
-----	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

日進市長

第 号

罹 災 届 出 証 明 書

使 用 目 的	
---------	--

罹 災 年 月 日	年 月 日 ()	午前	時	分頃
罹 災 場 所				
罹 災 者 氏 名	所有者・占有者			
罹 災 物 件				
罹 災 状 況				
備 考				

上記のとおり、罹災届出があったことを証明します。

年 月 日

日進市長

※ この証明は、災害救助の一環として、本市へ災害に係る被害について、届出を行った事実について、証明するものであり、民事上の権利義務関係に効力を及ぼすものではありません。また、被害の程度や、被害と災害の因果関係を証明するものではありません。

世帯構成員別被害状況

世帯員構成 員別 被害別	1人 世帯	2人 世帯	3人 世帯	4人 世帯	5人 世帯	6人 世帯	7人 世帯	8人 世帯	9人 世帯	10人 以上 世帯	計	小学生	中学生
全 壊 (焼)													
流 失													
半 壊 (焼)													
床 上 浸 水													
計													

避難所収容台帳

避難所

責任者 認 印	月 日	収 容 人 員	物 品 使 用 状 況		記 事	備 考
			品 名	数 量		
計						

- (注) 1 「収容人員」欄は当日の最高収容人員数を記入し、収容人員数の増減経過は「記事」欄に記入しておくこと。
 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用し、品目別、使用数量を記入すること。
 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

避難所用物品受払簿

品 名		単位呼称				
年 月 日	摘 要		受	払	残	備 考
計						

- (注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

避難所設置及び収容状況

避難所の名称	種別	開設期間 月 日～ 月 日	実人員 人	延人員 人	物品使用状況		実支額	備考
					品名	数量		
計								

- (注) 1 「種別」欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
 3 他市町村の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

被災者救出状況記録簿

年 月 日	救 出 地 区	救 出 人 員	救 出 用 機 械 器 具			金 額	備 考
			名 称	数 量	所有者（管理者）氏名		
		人				円	
計							

(注) 救出用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。

被災者救出用機械器具燃料受払簿

品 名		単 位 呼 称		年 月 日	摘 要	受	払	残	備 考
					計				

- (注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

被災者救出用機械器具修繕簿

機械器具の 名称	所有者（管理者） 氏 名	故 障 年 月 日	故 障 の 概 要	修 繕 年 月 日	修 繕 費	備 考
					円	
計						

(注) 「故障の概要」欄は、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

炊 出 し 給 与 簿

炊出し場の名称	月 日			月 日				3日間小計				4日以降小計			合 計	実支出額	給食内容
	朝	昼	夜	朝	昼	夜		朝	昼	夜		朝	昼	夜			
																円	
計																	

炊出しその他による食品給与物品受払簿

品 名		単位呼称				
年 月 日	摘 要		受	払	残	備 考
計						

- (注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

炊出し用物品借用簿

品 名	数 量	期 間	金 額	所 有 者 (管理者) 氏 名	使用避難場所の名称	備 考
			円			
計						

(注) 「期間」欄は「〇月〇日から〇月〇日まで〇日間」と記入すること。

飲料水供給簿

供給 年月日	供給 地区	対象 人員	給水用機械器具			金額	備考
			名称	数量	所有者(管理者)氏名		
計							

(注) 1 「対象人員」欄の人員数は、概数で記入して差し支えないこと。

2 給水用機械器具は借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に借上額を記入すること。

給水用機械器具、燃料及び浄水用薬品資材受払簿

品 名		単位呼称				
年 月 日	摘 要		受	払	残	備 考
計						

- (注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

給水用機械器具修繕簿

給水用機械 器具の名称	所有者（管理者） 氏 名	故 障 年 月 日	故 障 の 概 要	修 繕 年 月 日	修 繕 費	備 考
					円	
計						

(注) 「故障の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

救護班診療記録

市 救護班
医 師

印

年 月 日	町 名	患 者 氏 名	年 令	病 名	措 置 概 要	備 考
計	/	人	/	/	/	

(注)「備考」欄に、班の編成、活動期間を記入すること。

救護班医薬品衛生材料使用簿

市 救護班
医 師

印

医薬品衛生材料品名	単位呼称	単 価	摘 要	受	払	残	備 考
		円					
計							

- (注) 1 本簿は、救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を明らかにするものである。
 2 「摘要」欄に、受入先を記入すること。
 3 「備考」欄に、払高数量(使用数量)に対する金額を記入しておくこと。

救護班の編成及び活動記録

期 間	医 療 班 名	診 療 患 者 数	死 体 検 案 数	班 の 編 成	班 長 職 氏 名	備 考
計						

(注) 1 「診療患者数」欄は延人員数を記入すること。

2 「班の編成」欄は、職種ごとの人員数を記入すること。

医薬品衛生材料受払簿

品 名		単位呼称				
年 月 日	摘 要		受	払	残	備 考
計						

- (注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

病院診療所医療実施状況

診療機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病名	診療区分		診療報酬点数		金額 円	備考
				入院	通院	入院 点	通院 点		
計 機関	人			人	人				

助 産 台 帳

分 べ ん 者			分 べ ん の 日 時 場 所	助 産 機 関 名	期 間	金 額	備 考
住 所	氏 名	年 令					
						円	
計	人			機関			

死体捜索状況記録簿

年 月 日	捜 索 地 区	捜 索 死 体	捜 索 用 機 械 器 具			金 額	備 考
			名 称	数 量	所有者（管理者）氏名		
		体				円	
計							

- (注) 1 他市町村におよんだ場合は、備考欄にその市町村名を記入すること。
 2 捜索用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記入するものとし、有償による場合のみ、その借上費を金額欄に記入すること。

死体捜索用機械、器具、燃料受払簿

品 名		単位呼称				
年 月 日	摘 要		受	払	残	備 考
計						

- (注) 1 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 3 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

死 体 処 理 台 帳

処 理 年 月 日	死 体 発 見 の 日 時 及 び 場 所	死 亡 者 氏 名	遺 族		洗 浄 等 の 処 理			死 体 の 一 時 保 存	検 索 料	実 支 出 額	備 考
			氏 名	死 亡 者 と の 関 係	品 名	数 量	金 額				
							円				
計		人									

埋 葬 台 帳

死 亡 年 月 日	埋 葬 年 月 日	死 亡 者		埋葬を行った者		埋 葬 費				備 考	
		氏 名	年 令	死 亡 者 との 関係	氏 名	棺	(付属品 を含む)	埋 葬 又 は 火 葬 料	骨 箱		計
						円		円	円	円	
計	/	人	/	/	/						

- (注) 1 埋葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
 2 市長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

応急仮設住宅台帳

応急仮設 住宅番号	世帯主 氏名	家族数	所在地	構造 区分	面積	敷地 区分	着工 月日	竣工 月日	入居 月日	実支 出額	備考
		人									
計	世帯										

- (注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に附した番号とし、設置か所を明らかにした簡単な図面を作成し添付すること。
 2 「家族数」の欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。
 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにすること。
 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

土地賃貸借契約書

年 月 日

甲 住所
氏名

乙 日進市長

を甲とし、日進市長を乙として下記の物件について別紙条項によって賃貸借契約を締結する。

この契約を証するため、契約書 2 通を作成し、互いに記名押印してそれぞれ 1 通を所持する。

- 1 物件の名称
- 2 所在地目
- 3 地 積
- 4 使用目的
- 5 賃貸借料
- 6 賃貸借料の支払期限及び方法
- 7 賃貸借期間

年	月	日から
年	月	日まで

別紙条項

第 1 条 乙は、賃貸借物件を使用目的以外に使用してはならない。

第 2 条 甲は賃貸借物件を第三者に売却又は譲渡しようとするときは、その買受者又は譲渡者に本契約の義務を継承させること。この場合甲、乙両者協議の上、本契約を解除し、買受者又は譲渡者と新たに契約するものとする。

第 3 条 賃貸借物件に係る諸公課は、すべて甲の負担とする。

第 4 条 本契約における賃貸借料は、法令その他の理由によりその変更を認められるときは、甲乙両者協議の上契約を更新するものとする。

第 5 条 この契約は賃貸借期間満了 1 か月前に当事者双方から何らかの申出がないときは、満了の日から起算して満 1 か年間更に継続するものとする。

以後期間満了のときにおいても、また同様とする。

第 6 条 この契約に定めのない事項については、甲、乙両者誠意をもって協議しなければならない。

応急仮設住宅入居申請書

による災害のため住家を滅失したので応急仮設住宅
の入居を申請します。

年 月 日

住 所
氏 名

日進市長 殿

記

添付書類

- 1 災証明書
- 2 建設予定地の有無（見取図添付）

以下は記入しないでください。

許可の可否	入居させる住宅	世帯人員	その他特記事項

却下の理由

応急仮設住宅入居決定通知書

住 所
氏 名

年 月 日付けをもって申請のあった応急仮設住宅の入居については、次のとおり決定したので通知します。

年 月 日

日進市長

記

1 申請については許可（却下）します。
却下の理由

2 日進市との間に応急仮設住宅入居契約を直ちに行ってください。
（本条及び印カン持参の上市役所までおいでください。）

条 件

- (1) 応急仮設住宅入居の期間は入居の日から2年間以内であること。
従ってその間に他に住居を移すよう努力すること。
- (2) この住宅は他の者に絶対貸さないこと。
- (3) この住宅を返還するときは入居のときと同じ状態にしておくこと。

応急仮設住宅入居契約書

応急仮設住宅の入居につき貸渡人日進市長
を甲とし、借受人
を乙として甲乙当事者間に次の契約を締結する。

第1条 甲は、乙が住宅に使用する目的をもって次に記載した建物を第2条以下の条件を附して乙に貸渡し、乙はこれを借受けるものとする。

所在地 日進市

応急仮設住宅 第 号

木造トタン葺平屋建 建築面積 平方メートル

第2条 貸付期間は 年 月 日から 年 月 日までとする。ただし、期間満了したときは、市の指示にもとづくものとする。

第3条 貸付料は、第2条の期間内は無償貸付とする。

第4条 住宅の維持管理については、すべて乙の負担とする。

第5条 乙は次の行為をしてはならない。

- (1) 住宅を他人に貸与し又はその使用権を譲渡すること。ただし、相続により継承する場合はこの限りでない。
- (2) 住宅を破損又は汚損するような業務を営むこと。
- (3) 甲の承認を受けないで乙以外の者を同居させること。
- (4) 甲の承認を受けないで建築物の模様替をすること。

第6条 乙が住宅の使用を廃止しようとするときは、5日前までにその期日及び事由を具し、申に届け出なければならない。

2 前項の場合において滅失又は破損したものがあるときは、乙は退去前にこれを原形に復し又はその費用を弁償するものとする。

以上のとおり契約し、本証書2通を作成し、各その1通を保管するものとする。

年 月 日

甲 貸渡人

日進市長

印

乙 借受人

印

保証人

印

障害物除去の状況

住 家 被 害 程 度 区 分	氏 名	除 去 に 要 し た 期 間	実 支 出 額	除 去 に 要 す べ き 状 態 の 概 要	備 考
		月 日 ~ 月 日	円		
計	半 壊 (焼)	世帯			
	床 上 浸 水	世帯			

学用品購入（配分）計画表

品名	小中学 区 分 単 価	小 学 校						中 学 校						合 計		備 考
		全 壊 流 失 分			半壊床上浸水分			全 壊 流 失 分			半壊床上浸水分			数 量	金 額	
		児 童 数	数 量	金 額	児 童 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量	金 額			
	円	人		円	人		円	人		円	人		円		円	
計																

- (注) 1 本表は、学用品のうち、文房具及び通学用品のみとし、教科書（教材を含む。）については別途適宜作成するものであること。
 2 都道府県調達分があるときは、その旨を各品目ごとの「備考」欄に明らかにしておくこと。

学用品の給与状況

学 校 名	学 年	児 童 (生徒) 氏名	親権者 氏 名	給 与 月 日	給 与 品 の 内 訳						実 支 出 願	備 考
					教 科 書			その他学用品				
					国 語	算 数	国語 算数 理科 社会 英語 音楽 体育 美術 家庭 保健 生活 道徳 総合 その他	鉛 筆	ノート	鉛筆 ノート その他		
				月 日							円	
計	小 学 校		人								円	
	中 学 校		人								円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違なし

年 月 日

給与責任者（学校長）

氏 名

印

- (注) 1 「給与月日」欄は、その児童（生徒）に付して最後に給与した給与月日を記入すること。
 2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。

奉仕団等受入れ記録簿

月 日	団 体 名	代表者名	人 員	依頼した業務	期 間
			人		月 日 ~ 月 日

輸送記録簿

年 月 日	目 的	輸 送 区 間		使用車両船舶等		輸 送 担当者	金 額	備 考
		区 間	距 離	種 類	台 数			
					台		円	
計								

- (注) 1 必要に応じ都道府県又は市町村の車両等による場合とその他の場合に区分し別頁として差し支えないこと。
 2 「目的」欄は、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 3 都道府県又は市町村の車両等による場合は「輸送担当者」欄に車両番号を記入すること。
 4 借上車両等による場合は有無償の別を問わず記入すること。
 「金額」欄は、運送費又は車両等の借上費を記入すること。

燃料及び消耗品受払簿

品 名		単位呼称				
年 月 日	摘 要		受	払	残	備 考
計						

- (注) 1 必要に応じ都道府県又は他の市町村有の車両等に対する分とその他の車両等に対する分と別冊又は別頁として差し支えないこと。
 2 「摘要」欄に、購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 3 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入しておくこと。
 4 最終行欄に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにしておくこと。

災害派遣部隊撤収要請依頼書

発 簡 番 号
年 月 日

愛 知 県 知 事 あ て

日 進 市 長 名

災害派遣部隊撤収要請依頼書

災害派遣を要請中のところ、派遣目的が達成されたことに伴い、
部隊等を撤収されるよう要請を依頼します。

月 日をもって派遣